

# 令和8年度～令和10年度 藤枝商工会議所 第24期 中期活動計画



藤枝商工会議所

The FUJIEDA Chamber of Commerce and Industry

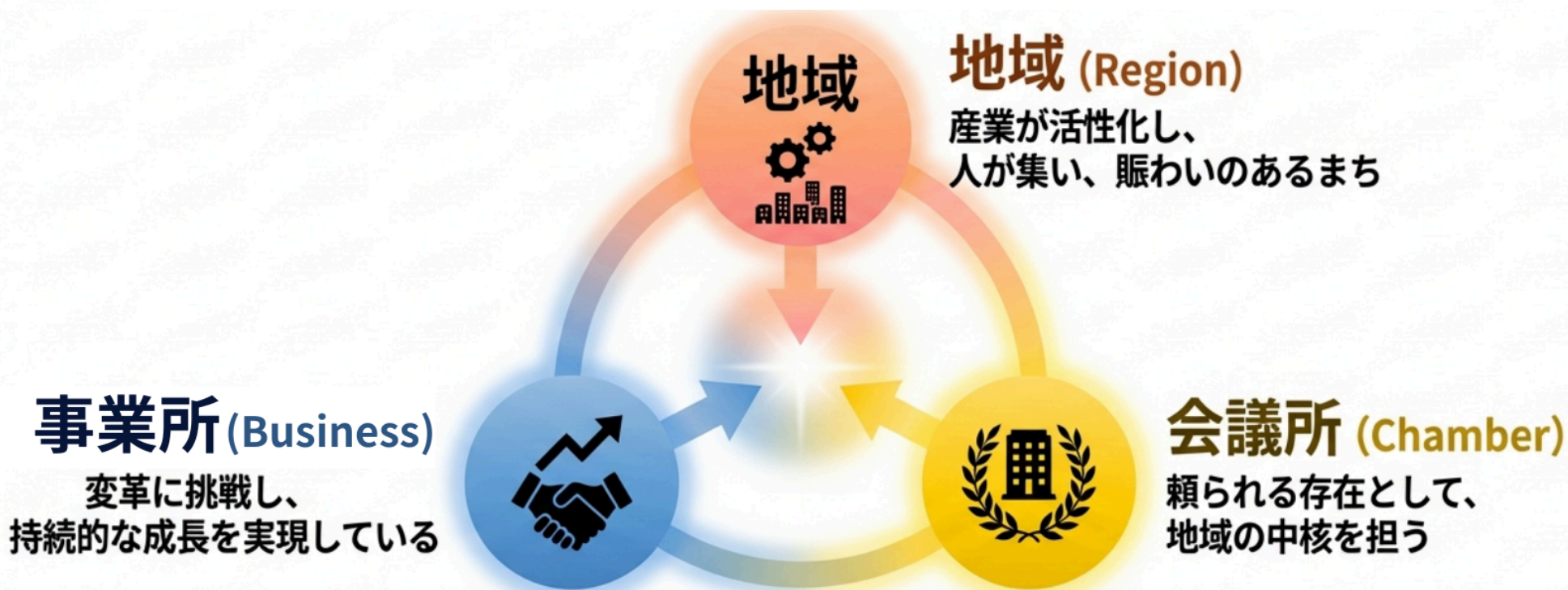
## 計画の全体像：5つの挑戦

【目指す社会像】共に進化できる社会・未来に夢を持てる持続可能な社会・誰もが幸せを実感できる社会

【ミッション】事業所の繁栄を通じて地域を活性化し、日本経済社会の発展に寄与する

【ビジョン】人口減少・高齢化やデジタル化、国際情勢の不確実性に対応し、創立60周年を契機に伝統を継承しながら新たな歴史を創る

事業者の皆様、関係機関の皆様と共に、新たな歴史を創る



# 計画の全体像：5つの挑戦

## 第1章 つくる

### 産業づくり（個社支援の深化と産業基盤の強化）

— 個々の企業の自己変革や成長を直接支援する施策 —

## 第2章 つなぐ

### 地域づくり（賑わいの創出と戦略的連携）

— 地域イベントや外部団体との連携を通じた地域の活性化や交流を図る施策 —

## 第3章 つちかう

### 人材づくり（体系的なキャリア教育と次世代経営層の育成）

— 人材確保（雇用・育成・定着）を支援する施策 —

## 第4章 つたえる

### 関係づくり（戦略的な情報発信と更なる関係性の構築）

— 会員・地域との対話を深めるための施策 —

## 第5章 つづける

### 会議所基盤づくり（組織運営のDX化とサービスの拡充）

— 持続可能な組織を運営・継続させる施策 —

## 推進のための横断的視点（共通基盤）



デジタル変革（DX）全事業におけるデータとデジタルツールの活用



パートナーシップ 国・県・市・他各団体との重層的な連携強化



持続可能性（Sustainability）ウェルビーイング視点と財源の確保

### ■成果指標

5つの挑戦	成果指標	基準値(R7)	目標値(R10)
第1章 産業づくり	事業所への巡回訪問事業所数	740事業所	800事業所
	専門家派遣制度活用件数	170件	200件
第2章 地域づくり	会員交流事業の参加者数	270名	300名
	イベント出店者の売上増加	100%	115%
第3章 人材づくり	雇用事業によるマッチングに満足した参加者割合	—	90%
	若手社員研修に満足した参加者割合	—	90%
第4章 関係づくり	HPアクセス数	42,000件	45,000件
	インスタグラムフォロワー数	1,200件見込	1,500件
第5章 会議所基盤づくり	会員数	2,760事業所	2,800事業所
	共済加入者数	4,815口	5,000口

# 第1章 | 産業づくり【つくる】（個社支援の深化と産業基盤の強化）

—個々の企業の自己変革や成長を直接支援する施策—

## 経営支援の高度化

経営発達支援計画に基づく  
伴走支援による課題解決と  
経営計画策定の促進

## 事業継続力強化

事業継続力強化支援計画に  
基づくBCP等策定支援と  
災害レジリエンスの向上

## 創業・新事業創出

創業機運の醸成と  
スタートアップ支援の  
エコシステム構築

### 重点項目等

- 生産性・可処分時間を創出するためのAI・DXの普及促進
- 総合的なサイバーセキュリティ対策の支援強化
- 新たなチャレンジへの伴走的支援
- 事業環境などの変化に対応するための専門家派遣

## 第2章 | 地域づくり【つなぐ】 (賑わいの創出と戦略的連携)

—地域イベントや外部団体との連携を通じた地域の活性化や交流を図る施策—

### 産官学金連携の推進

地域課題解決に向けた  
連携プラットフォームの  
構築

### 地域振興・観光促進

地域資源を活かした  
開発とブランド化

### 関係人口・交流の創出

イベント・交流事業を  
通じた地域内外の  
ネットワーク拡大

#### ■重点項目等

- 新たな商品やサービスの創出支援
- 地域資源を活かした市との藤枝ブランドの仕組み再整理
- 友好商工会議所との交流

## 第3章 | 人材づくり【つちかう】(体系的なキャリア教育と次世代経営層の育成)

—人材確保(雇用・育成・定着)を支援する施策—

### 人材育成・リスキリング支援

次世代リーダー育成と  
従業員のスキルアップ機会提供

### 働きやすい環境づくり・ 健康経営支援

多様な人材が活躍できる  
職場環境整備と健康経営の普及  
業務の見える化DXの推進

#### ■重点項目等

- 地元就職マッチングの推進
- 継続的な人材育成・リスキリングの推進
- 健康経営優良法人認定取得や健康経営の取組支援と普及啓発

## 第4章 | 関係づくり【つたえる】（戦略的な情報発信と更なる関係性の構築）

—会員・地域との対話を深めるための施策—

### 広報・情報発信力の強化

SNS・デジタル媒体を活用した  
多角的な情報発信

### 調査・研究機能の充実

地域経済動向の定量分析と  
フィードバック

#### ■重点項目等

- ・ 横断的なニーズ調査と事業展開
- ・ 会報誌のリニューアル
- ・ スピーディーな情報発信と会員事業所情報の共有・発信強化

# 第5章 | 会議所基盤づくり【つづける】 (組織運営のDX化とサービスの拡充)

—持続可能な組織を運営・継続させる施策—

## 会員基盤の維持・強化

組織率の向上と未加入事業者へのアプローチ

## 政策要望・提言力の強化

行政との対話促進と実効性のある政策提言

## 職員スキル向上・組織体制強化

専門知識の習得と柔軟な組織運営体制の構築

## 安定した財政基盤の維持

収入確保とコストの適正化

### 重点項目等

- ・ 会員拡大と財政基盤の維持
- ・ 委員会・部会による建設的な提言
- ・ 青年部・女性会への活動支援
- ・ 商工会議所のデジタル化・DXの推進強化

# 第5章 | 会議所基盤づくり【つづける】(組織運営のDX化とサービスの拡充)

## 第24期 委員会運営方針：成功への3つの柱

### 1. 活動の本質：提言への結実

ゴールは「藤枝市への有益な提言」  
交流や視察に留まらず、具体的な成果物として提言をまとめます。

#### 提言への5ステップ



回答受領

市への提出

会議所承認

整理・集約

意見聴取

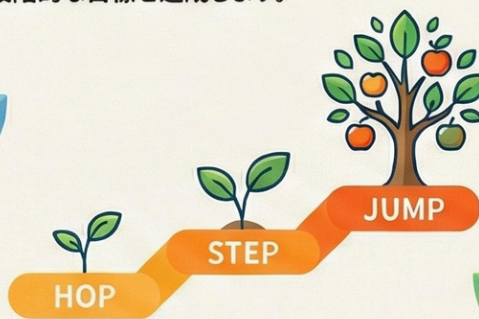
4~5月	要望内容を整理
6月	県への要望を承認
7月上旬	県へ要望書を提出
9月上旬	市への要望を承認
9月下旬	市へ要望書を提出

市政への深い理解が不可欠  
市の計画を学び、共通言語を持つことで議論の質を高めます。



### 2. 戦略的な運営：持続可能な計画

3カ年計画「HOP・STEP・JUMP」  
単年度で終わらない、長期的な視点で段階的な目標を達成します。



発言は委員会の「総意」として  
出向協議会・会議では、個人の発言にならないよう委員意見の集約をします。



### 3. 円滑な組織管理：効率化と連携

#### 事務局との密な連携

事務局と密に連携し、常に最新の予算執行状況を把握した上で活動します。



#### 脱FAXとツールの活用

事務連絡はFAXを廃止し、メールへ移行します。  
日程調整は「調整さん」等のツールを活用します。

